

次号予告

特集 初学者のためのOR事例

線形計画問題：物資の輸送を例として	池邊淑子 (東京理科大学)
発見的解法—収集/配送経路問題への適用—	沼田一道 (東京理科大学)
最適配置の理論：都市施設の場所について	大津 晶 (小樽商科大学)
グラフ・ネットワーク・OR	根本俊男 (文教大学)
固定費を有する確率計画問題の電源計画への応用	椎名孝之 (千葉工業大学)
マルコフ連鎖の極限推移確率と Web リンク解析	岡村寛之 (広島大学)
待ち行列理論の応用：コールセンターを例に	河西憲一 (群馬大学)
シミュレーションによる不確実性下の事業投資評価	辺見和晃 (構造計画研究所)
ゲーム理論を用いたねじれ国会分析：投票力指数で影響力を測る	福田恵美子 (防衛大学校)
DEA を用いたプロ野球の投手の評価	廣津信義 (順天堂大学), 上田 徹 (成蹊大学)

編集後記

●岡野裕之委員を引き継ぐ形で5月から編集委員をさせていただきます。特集のアイデア出しから校正まで、一連のプロセスをほぼ経験して、大体の流れが分かってきました。アイデア出し以降は多くの人の労力を要することになるので、それに見合った良い特集アイデアを出していきたいと思えます。また、自分の提案した特集がこれから形になっていくのがとても楽しみです。

●さて、今月号の特集は「企業事例」です。私の勤めるIBMでは今年 Business Analytics & Optimization という組織が立ち上がりました。この組織の使命のひとつは、ORの先進的な手法を使ってお客様の問題を解決していくというものです。本特集の事例のような

取り組みがますます増えていくことで、スマートな社会になっていくことを期待します。

●スマートな社会の実現にはスマートな政治も重要な役割を果たすことと思えます。先の選挙で民主党が大勝利、本号の出版されるころには鳩山由紀夫首相が誕生しているでしょうか。ORを学ばれた鳩山由紀夫氏がどのように舵を切っていくのか興味深いです。

●2007年12月号の特集「近未来からのORへの要請」には、鳩山由紀夫氏による「憲法改正問題へのOR的アプローチの要請」という論文が掲載されています。「近未来」はまさにすぐそこに近づいているものと思えます。OR学会はこの要請にどれくらい応えられているでしょうか。(恐神貴行)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 (独建築研究所), 尾崎尚也 (財鉄道総合技術研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 高野正次 (日本電信電話(株)), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財電力中央研究所), 豊泉 洋 (早稲田大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 増田浩通 (千葉工業大学), 八木恭子 (東京大学), 渡邊 勇 (財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 21 年 11 月号 第 54 卷 第 11 号 通巻 587 号

代表者 伏見 正 則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧本直樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ